

プロジェクトの開始を宣言

【問】政策推進課
☎0854-4011011

7月10日、雲南市役所で「雲南ブランド化プロジェクト」の開始宣言が行われ、雲南市のまちづくりに向けた新たな取り組みが開始しました。

雲南市をブランドに

それは雲南市を輝かせるプロジェクト

速水市長がプロジェクトの開始を宣言。
「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を理念に掲げて雲南市が誕生して3年。人口減少や少子高齢化、財政難など、雲南市を取り巻く環境はますます深刻化していますが、雲南市は、これらの課題を克服していかねばなりません。
雲南市には、悠久の歴史の中で育まれ、伝承されてきた普遍の豊かさ、ふるさとの五つの恵みがあります。五つの恵みとは、雲南市総合計画にも掲げている、世代がふれあう家族の暮らし、笑顔あふれる地域の絆、美しい農山村の風景、多彩な歴史遺産、新鮮で安全な食と農です。
こうした恵みの多い私たちの雲南市に誇りと愛着をもつ

て、その素晴らしさを発信し、内外に知ってもらい、活用していくことが、産業振興、人口増加、財政再建などの諸課題克服への道しるべであると考えます。

その道のりを踏み出す第一歩として、「ここに、『雲南市』そのものをブランドとして確立するためのプロジェクト、『雲南ブランド化プロジェクト』の開始を宣言します。このプロジェクトの推進に



プロジェクトシンボル

は、市民のみなさんの「雲南市を輝かせよう！」という前向きな一体感が重要です。つまり、市民の皆さん一人ひとりがプロジェクトメンバーとなり、大きな運動体をつくりあげることがこのプロジェクトの成功の鍵です。

ブランドメッセージの「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」とその源泉となる五つのふるさとの恵みを伝えるため、より印象的で、「気持ち」に働きかけるソフトを開発しました。
「幸運なんです。雲南です。」
(次頁に掲載)

アクションプラン(具体的な取り組み)

2007年
1. 「幸運なんです。雲南です。」

す。「見える化アクション始めます。文字通り、プロジェクトシンボルの「幸運なんです。雲南です。」をたくさん人の目にふれるようにすることで、ブランド化計画の始まりと本気感を伝える活動です。たとえば、可愛いシンボルで包まれた広域路線バスが市内をクルクル走ります。もちろん市役所の封筒や職員の名刺などにもドンドン露出してゆきます。

2. 来年公開の映画「うん、何？」と協働します。「雲南ブランド」の素晴らしさを再認識していただくための雲南市と映画の魅力を紹介する本の制作や共同誌与会など、様々な企画やイベントを映画と連動して強力に展開してゆきます。

2008年
3. 美味しい雲南を召し上げれ！「雲南食堂」開店です！雲南ブランドの最大の魅力のひとつ、食の幸。こればかり

応援メッセージ届く

市長の宣言のあと、プロジェクトへの応援が寄せられました。

◆木次乳業有限会社相談役 佐藤忠吉氏
「自分たちはこの地にもともとあった素晴らしいものを使っているだけだ。この地の幸いとともにこの地に生まれたいことに感謝したい」

◆早稲田大学教授 古谷誠章氏
「東京や大阪、日本各地の雲南市出身者も宝のひとつ。この人たちが、たびたび帰ってきたくなるような雲南市づくりをみなさんと取り組んでほしい」

8月上旬から古谷研究室の学生が公共施設の活用方法について市内の調査に入ります。

◆映画「うん、何？」の監督 錦織良成氏
「ここが幸せでないと語っている人のところには人は集まってくる。雲南市には本当にたくさんさんの幸運がある。市民がこれを理解して、市全体でブランド化を推進していけば、もっといいまちになる」

中学生を激励
修学旅行の大阪商人体験コースで大阪に向かう大東中学校の生徒に、速水市長と錦織監督から「幸運なんですTシャツ」と激励メッセージが贈られました。生徒代表は、「雲南市の素晴らしさを大阪で精一杯宣伝したい」と決意を話しました。



「幸運なんです。雲南です。」は、「幸せ」の「幸運」と「雲南市」の「雲南」を掛け合わせた言葉で、今後上映が始まって行く映画の「うん、何？」とも連動する言葉でもあります。この言葉により、「うんなん」という言葉を強く内外に発信していきます。

2009年
5. 楽しく、不思議な物語「銅鐸&神話ストーリー」を制作します。古代史における雲南の存在の重要性を再認識していただくために、雲南の数ある歴史遺産でもとりわけ、近い将来国宝にも指定されることが予想される「銅鐸」の謎や逸話、そして「神話」に焦点を当てます。

これがプロジェクトシンボルです。

幸運なんです。
雲南です。

わたしたちの雲南市には
実にさまざまな幸があふれています。
美しい日本の原風景、自然の幸。
神話に彩られた史跡や文化遺産…歴史の幸。
毎日が新鮮、たわわな食の幸。
そして親(ちか)しく交わされる笑顔、人の幸。
変化が求められる時代に、
これだけの幸に恵まれた幸運に感謝して
このまちに生まれ、育ち、暮らすことに誇りを持ちたい。
幸運なんです。雲南です。